

大館桂桜高等学校校章発表

実施期日

平成27年12月11日

平成27年12月12日付 秋田さきがけ掲載

大館桂桜高校

県教育委員会は11日、大館市の大館、大館桂、大館工3高校が統合し、来年4月に開校する「大館桂桜高校」の校章を発表した。空、桂、桜を青、緑、ピンクの3色の花びらで示し、桂と桜が空に向かって成長する姿と学校が未来へ向かうイメージを重ね合わせている。

統合3校の結束表現



英人さん(62)が原案を作り、県デザイン協会の青

とともに募集した校歌は年度内に発表する。

校章デザイン決まる

木隆吉会長が県教委の依頼で補作した。

大館桂桜高は普通、生活科学、機械、電気、土木・建築の計5学科6学

8月20日に公募。県内外の116人から244点の応募があった。3校の同窓会やPTA、生徒

大館市片山町の旧大館商高跡地に建設している。(高橋さつき)

代表、県教委などで協議し、最も大館桂桜高の教育理念に近いデザインを選んだ。

今後は校章で校旗や制服に着けるバッジなどを作る。校章

